「2 型糖尿病患者における HbA1c の季節変動及び治療実態に関する研究」に関するお知らせ

　このたび、当院で診察を行った患者さんのデータを用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、【埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

　本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1．研究の対象となる方

　2 型糖尿病と診断され、2019 年 1 月～2020 年 12 月の期間に埼玉大学総合医療センターを受診し検査を実施した患者さんを対象としております。

2．研究の目的

血糖コントロールの指標である HbA1c について、季節による変動や新型コロナウイルス感染流行による影響を調べます。

3．研究期間

　病院長の許可後～2028 年 3 月 31 日

4．利用または提供の開始予定日

　2023 年 10 月 5 日

　開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1．試料･情報の内容

　性別、生年月、身長、体重、2 型糖尿病診断日、合併症（高血圧症、高脂血症、糖尿病神経障害、糖尿病網膜症、糖尿病腎症の有無）、評価期間における臨床検査値、糖尿病治療内容（処方）を調査します。

　※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉大学総合医療センターにおいて、研究責任者である齋藤健一が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2．試料･情報の取得方法

　2 型糖尿病と診断された患者さんの検査データおよび診療記録を調査に用います。

3．試料･情報を利用する者（研究実施機関）

　･星薬科大学　実務教育研究部門　湧井　宣行（研究代表者）

　･星薬科大学　実務教育研究部門　佐野　元彦

・星薬科大学　実務教育研究部門　白水 俊介
・星薬科大学　実務教育研究部門　齋藤 純理
・埼玉医科大学総合医療センター　薬剤部　齋藤健一
・埼玉医科大学総合医療センター　薬剤部　近藤正巳
・埼玉医科大学総合医療センター　薬剤部　塩入理子
・埼玉医科大学総合医療センター　内分泌糖尿病内科　泉田欣彦

4. 試料・情報の管理責任者

試料・情報の授受を行う場合

＜提供元機関＞【埼玉医科大学総合医療センター】 病院長　別宮好文

＜提供先機関＞【星薬科大学】学長　牛島 俊和

5. 試料・情報の提供方法等について

・＜試料＞試料は扱いません。

・＜情報＞個人が特定されないように処理した上で、パスワードをかけた電子ファイルを、メールで送信します。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。
利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。
ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

連絡先：〒350-8550　埼玉県川越市鴨田 1981
埼玉医科大学総合医療センター
担当　薬剤部　次長　齋藤　健一
TEL：049-228-3543（直通）
（平日 9 時～17 時）
メールアドレス：ksaito@saitama-med.ac.jp

〇研究課題名：2 型糖尿病患者における HbA1c の季節変動及び治療実態に関する研究
〇研究代表者：埼玉医科大学総合医療センター　薬剤部　次長　齋藤　健一